



# JARL中国地方本部便り第3号



**アマチュアコード**

1 アマチュアは、良き社会人であること  
 1 アマチュアは、健全であること  
 1 アマチュアは、親切であること  
 1 アマチュアは、進歩的であること  
 1 アマチュアは、国際的であること

## 「2015中国地方合同ハムの集いin島根」



「2015中国地方合同ハムの集い in 島根」平成27年8月30日

8月29日(土)～30日(日)の両日、「2015中国地方合同ハムの集い in 島根」を実施しました。会場は、島根県出雲市の「出雲国際交流プラザ」という素晴らしい施設で時折、小雨の降るあいにくの天気でしたが、例年以上の140名を超える多くのアマチュア無線家が参加し、盛況裡に実施することが出来ました。

29日(土)は、午後6時から前夜祭が実施され、参加された約30名の方々はグラスを片手に旧交を温めておられました。

30日(日)のハムの集いは午前10時から始まり、中国総合通信局 無線通信部長 高橋 史昭氏を始め、山之内JARL会長・高尾副会長を来賓に迎え、高橋通信部長並びに山之内会長から御挨拶を頂きました。



(JARL 山之内会長)



(中央:講師 長田氏)

その後、講演に移り、まず、JA4UEP長田誠氏が「～南極昭和基地～」と題して第52次南極地域観測隊に同行し、大型大気レーダーの建設の従事された経験談を画像や動画を紹介しながら、講演されました。南極という特殊な地域での体験談は、興味深いもので、皆さん、熱心に聞き入っておられました。



(南極観測船 しらせ)

その後、写真撮影の後、お昼の休憩に入りました。

(第2ページに続く。)

午後は、2人目の講演としてJARL副会長 JG1KTC 高尾義則氏の「～アウトドアライフの魅力～」と題して、野外でのアマチュア無線局運用の魅力や苦労話や困難な環境を克服して運用した経験談、小出力にもかかわらず多くのアマチュア無線局から呼ばれて、パイルアップを経験したことなど、熱のこもった講演で多くの方が移動運用に興味を持たれたことと思います。

その後、今回開催を担当して頂いた島根県支部の行事に移り、永年JARL会員継続（10・20・30・40年）の表彰式、第35回島根対全日本コンテストの表彰式、島根県支部の現況報告と続けました。

最後は恒例の「お楽しみ抽選会」を実施し、参加された皆さんは、賞品を手に帰路につかれました。会場には、多くの無線機メーカーを始めアンテナメーカー、展示ブースには愛知県・香川県から参加頂きました。また 中国総合通信局の「電子申請届出ブース」ど「なんでも相談コーナー」が設置され、花を添えて頂きました。

また、特別局としてJA4RLが、加えてJARL特別記念局8J490Yが会場で運用され、内外の多くの局と交信をしていました。

(会長・副会長と8J490Y運用中のちびっ子無線局長) (賑わう会場→)



## [JARL創立90周年記念ハムフェア2015]



去る8月22日(土)～23日(日)の2日間、東京ビッグサイトにおいて「JARL創立90周年記念ハムフェア2015」が実施されました。中国地方本部からは、確認できているところでは、綱島本部長並びに青池山口県支部長が参加、他には岡山県支部の坪井副支部長、吉岡・平野顧問、中国地方選出社員のJA4DND松浦さん、JA4LKB



上田さんなど多くの会員の皆さんがおいでになっていました。

今年は、90周年と言うことで様々なイベントが企画され、例年以上に賑わい、2日間で3万6千名もの方々がおいでになったと言うことです。

JARLとして最重点事項の一つ、会員の入会についても多くの方が入会ブースに並び大盛況でした。こういう傾向が長く続いてくれることを願っています。外国からも多くの来賓やアマチュア無線家が来日、アイボールに花を咲かせておられました。いくつかの地方本部もブースを設けて、それぞれの地方のPRをしていたようですが、中国地方も来年は地方本部のブースを開設することを前向きに検討したいと思っております。



## 行事予定

- 9月26～27日 JARL第24回理事会
- 10月10～11日 西条酒祭り JA4RL運用(広島)
- 25日(日) 広島県ハムの集い
- 11月 1日(日) ハムの集いin山口
- 1日(日) 科学キッズフェスティバル JA4RL運用(岡山)
- 3日(火) 里庄町産業文化祭 JA4RL運用(岡山)
- 23日(月) 柳井祭り JA4RL運用(山口)
- 12月 6日(日) 第3回中国地方本部会議

**JARL90周年特別記念局 8J490Y が9月中、広島県で運用中です。詳しくは、地方本部Webをどうぞ。**

## 編集後記

朝夕は、寒さを覚えるようになってきましたが、皆様には如何お過ごしでしょうか。予定より少し遅くなりましたが、中国地方本部便り第3号をお届けします。今回は、地方本部最大の行事である「中国地方本部合同ハムの集いin島根」の記事が大半となりました。お楽しみ頂ければ幸いです。